

くらさん

将来の教育を担う教師を育てる教育実習



毎年、本校では教育実習生を受け入れています。将来の教育を担う教師を育てていくうえで、教育実習は欠かせません。一般的には、5月末頃からの2から3週間と、2学期の9月に行います。今年も、二人の実習生が、運動会から実習に来ています。現在、一人は、4年5組の山下学級を中心に、授業や学級指導を身近に参観したり、実際に授業をしたりして学んでいます。

(6月12日まで) もう一人は、養護教諭希望で、保健室と2年1組吉川学級を中心に、実習をしています。(6月16日まで) 実習を通して、教師になりたいという思いをこれまで以上に持ってほしいと思っています。

朝のあいさつ運動



朝、生活委員の人たちや6年生の各クラスの人たちだけでなく、他の学年の人たちも交代で東西南北4つの校門のところに立ち、あいさつ運動をしてくれています。

私が託麻西小に来る前まではどうだったかは知りませんが、年々子どもたちの挨拶が、いろいろな所で聞こえるようになってきたと感じています。挨拶は、人と人、心と心をつなぐ第一歩と考えます。今以上に明るく元気な挨拶が飛び交う学校にしたいものです。挨拶だけでなく「はい。」という返事も同じです。挨拶が普通にできるようになったら、次は、立ち止まっても挨拶ができるようレベルアップを目指しています。

いよいよ6年生を先頭に「プール開き」が始まりました!!



6月12日(月)、2・3時間目に6年生のプール開きがありました。曇り空で、水に入ると少し寒いという声も聞こえてきましたが、水泳シーズンの幕開けです。何かの時に自分の命を守るため、また、体力・運動能力を高めるため、昨年より少しでも向上するよう頑張りたいと思います。

新谷悠陽さんのご冥福をお祈りいたします

学校安心メールでお知らせいたしましたが、長い間闘病されていまして6年生の新谷悠陽さんがお亡くなりになりました。託麻葬祭会館において、6月10日お通夜、11日ご葬儀がしめやかに執り行われました。本校の子どもたちもたくさん参列し、深い悲しみの中最後のお別れをしていました。ご家族の方々の思いを察すると、とても心が痛みます。ここに謹んでお悔やみ申し上げます。

